

第2回評価委員会(令和元年9月12日)における主な意見

中期目標期間評価関係

- (1) (委員) フットケアセンターの開設は、とても素晴らしいことだと思う。今後ますますの発展を期待。
- (2) (委員) 水の貯蓄量の観点から大規模災害時にどのように対応していくか検討を。
- (3) (委員) 総合満足度のH30実績値は、外部機関の調査基準に合わせたために、数値が下がっていることを特記事項として記載しておかないと誤解を招く。
- (4) (委員) かかりつけ医普及啓発小冊子を作成するなど、患者中心の医療を推進していることは、評価できる。
- (5) (委員) 病院ボランティアの減少、高齢化はどここの病院でも抱えている問題である。
- (6) (委員) 患者案内の電子化などにより、ボランティアの仕事が少なくなっているという側面もある。
- (7) (委員) 「長野市民病院医学雑誌」の発行を「医療に関する調査及び研究」の実績に加えてもいいのではないか。
- (8) (委員) 病院機能評価の目標値と実績値について、評価の尺度が変わったことがわかるように記載しておくこと。
- (9) (委員) 診療報酬査定件数は、他の病院との比較ではなく、目標との比較により評価を行うべきで、今後検討していただきたい。
- (10) (委員) 延べ外来患者数が微増であるが、市民病院は、外来よりも高度急性期機能を求められているのでは。市民病院に求められている機能に人的資源を選択・集中できるように。